

## タウンミーティング議事録

### 1 日 時

平成30年7月1日（日）午前10時から11時30分まで

### 2 場 所

森の図書館 視聴覚室

### 3 参 加 者

#### （1）特別職等

井崎市長、石原副市長、後田教育長、志村上下水道事業管理者

#### （2）部 局 長

山田総合政策部長、湯浅市民生活部長、秋元子ども家庭部長、  
鈴木土木部長、前川学校教育部長

#### （3）事 務 局（秘書広報課）

中野課長、石川課長補佐、加藤主事、中村主事、金子臨時職員、  
三好主任主事（記

### 4 来場者数

25名

### 5 質疑回答

裏面のとおり

## Q 市民

この住みやすい流山のまちを、より住みやすく良いまちにするために大切なことを3つ挙げるとしたら、それは何ですか？

## A 市

流山市の人口構成は、団塊世代の方、子育て世代の方、そしてその子どもたちと、3つの山があります。

まず、団塊世代の方には、これから流山を終のすみかとして安心して住んでいただけるような環境づくりが必要となります。高齢者が集中して住んでいる地域のコミュニティや交通の足の問題といった点をしっかりと対応して、高齢者社会を支えていくことが大切です。

もう1つは、団塊ジュニアの方。この方々は働いている方が多く大変忙しくしていますので、市の行政サービスが便利なものでないと、サービスを受けにくいとか、あっても使えないということになります。例えば、図書館の本を借りたいが土日しか行けないという場合に、本をインターネット上で予約して、おおたかの森出張所で受け取ることのできるサービスを充実するなど、忙しい方々にも必要に応じたサービスを受けやすい仕組みを作ることが重要と思います。

3つ目として、流山市は子どもたちが急増しています。特に就学前の子ども数はこの10年間で5割増えており、さらに7、8年かけて3割位増える見込みです。ということは、10年前と数年後を比較すると、子どもの数が倍近く増える層もあり、人口推計によると数年後には団塊ジュニアの子ども数が団塊世代を追い抜きます。そこで必要なのが、保育園、小中学校、学童、あるいは子どもの居場所です。

3つの非常に増えている層の方々をしっかりと支えることが大切だと感じています。ただ、方法論として、流山市が机上で考えるのではなく市民の方々からご意見をいただける場を設けて、市政へ着実に反映するという取り組みが非常に重要です。市民のニーズは、年齢構成やライフステージ等により優先順位が変わってきます。これらを的確に、スピーディに判断し、顕在化した課題・潜在的な課題のいずれにも対応することが必要と考えています。

## Q 市民

2点質問します。

1点目は、観光流山についてです。運河は駅の近くにあり、条件的には最高です。桜、アジサイ、ガーベラ、この3つを主体にして、日本の名所、世界の名所にできるのではないのでしょうか。

もう1点、今まで老人会の会長をしていましたが、森の倶楽部から移動するのにバスを使っていて、そのバス代が結構莫大という話ですからタクシーを利用してはいかがでしょうか。2台、せいぜい16人分位あれば、あとの人は電車で来てくれるから、往復で1万円くらいあればタクシーで2往復して来られるのではないかと思います。排気ガスの問題もあるし、タクシーと言うのもひとつの方法ではないのでしょうか。

## A 市

1点目の観光化については、流山市は住宅都市であり、少子高齢化を担う若い方々に流山市を選んでいただける政策を展開していますが、日本全体の人口は減り続けますので、いつまでも人口増を期待できるものではありません。その中で地域経済を維持・発展させるためには、交流人口、つまり市外から来ていただいて地域を活性化させるという考え方が非常に重要となります。

流山市も、7、8年前から流山本町と利根運河を観光資源として、多くの方々にご来場いただけるよう呼び込みを始めています。利根運河は今年、ビリケン像が壊され、それを見かねて大阪から金色の像を提供戴いたというストーリーがあり、思いのほか交流人口が増えています。利根運河の自然は流山の素晴らしい観光資源だと思いますので、自然の持つ許容量を超えない程度に多くの方にきていただいて、仰るようなまちへと徐々に近付けていきたいと思えます。

タクシーの件は、できれば皆さん江戸川台駅などから乗り合いで利用いただければありがたいと思えます。

## Q 市民

江戸川台と東深井の境目にある緑地にツツジやアジサイを植えて、ひとつの観光のスポットにしてはいかがでしょうか。ガーデニングとタイアップすれば相乗効果もあると思えます。これは要望です。

## Q 市民

県内では流山市が男女とも最も平均寿命が高い健康都市だということですが、税の負担も高齢者が多いので、高齢者を元気にするような施策を考えてもらえないでしょうか。

普段の月例会では食事をしてカラオケをしてということで、特に60歳を過ぎた若い人の参加人数が減っていますので、もう少し有意義なことができればと思っていますが、森の倶楽部には、プロジェクターやスクリーン、レーザーポインタが無く、やむを得ず市役所の生涯学習課から借りています。もう少し施設の備品を充実できませんか。

## A 市

高齢者向けに多くの施策があります。

介護の面では、お一人の生活ができなくならないための様々な活動を行っており、医師会や老人会を通して、あるいはコミュニティスポーツリーダーの方が講師をしています。詳細は、高齢者支援課にお問い合わせいただければと思います。また、支援の必要な方に充実した生活を送っていただくための活動もありますので、ニーズに合わせて検討いただければと思います。

プロジェクターやスクリーン等の備品については、これまで流山市役所に保管しているものを貸し出ししていましたが、森の倶楽部、森の図書館などの備品も充実させていこうと考えています。スクリーンも市販のサイズでは小さく不評ですので、皆さまの利便性向上のために見直していきたいと思っています。

## Q 市民

備品は、どの程度の需要があるかという点のほか、利用率が低い場合には皆さんに知ってもらおうということも肝心だと思います。

## Q 市民

新川耕地に巨大な流通センターができていますが、私たちには情報が断片的に入っている状況ですので、アウトラインを説明してください。

また、就労者がかなり増えますので、交通の面と、東深井・西深井・

江戸川台等の生活安全面への影響が大きいのではないかという漠然とした不安があります。市としてどのように考えていますか。

## A 市

新川耕地の物流センターについてご説明しますと、現在、新川耕地の水田地帯が埋め立てられ、複数の企業が6つの物流センターを開発する計画を進行しています。今年の3月に1棟目がオープンしましたが、5年後には全て完成する予定であり、床面積は170万平米（東京ドーム34個分）、就業人数は1万人の、東洋一の物流センターと言われていきます。

物流センターの敷地は、幅800m、長さ4.5kmの南北に細長い形となります。物流センター、鉄道会社、バス事業者の情報と、流山市から依頼している情報を統合しますと、南側のインターに近い地帯は流山おおたかの森駅、工業団地に近い地帯は江戸川台駅、その中間地帯は初石駅がそれぞれ最寄り駅となる予定です。流山おおたかの森駅と江戸川台駅は駅前が整備されていますが、初石駅のほうは多くのバスが乗り入れ可能な状況にはありません。

物流センターには保育園が完備されており、人員募集の競争率も約100倍と大変人気があります。今までの物流センターの概念とは異なる先進的な施設であり、付近のホテルの生息環境を移設して保存すると聞いており環境にも配慮しています。

物流センターで不法滞在者が働くことを心配されている人もいますが、そのようなことは無いと考えます。むしろ流山市の子育て中の方が東京まで働きに出ずにこちらで働くことも予想されます。事務系の雇用も多くあります。

## Q 市民

森の倶楽部で将棋を楽しんでいますが、正面玄関の階段が高くて急です。この間も最上段から転がり落ちた方がいて、たまたま傍にいた方が抱きとめて降りました。1年程前、手すりを設置してほしいと投稿箱に書いて出しましたが、何の応答もありません。

また、先に大阪の地震がありました。今は想定外という言葉はなくどのような地震でも起こり得る状況です。森の倶楽部で地震や火災が起

こった場合、部屋の出口が本当に狭く、廊下に飛び出しても様々なものが並んでいるので冷静に判断して表に出られないと思います。

市は避難訓練を実施されていますが、パニック状態では機能しないと思います。狭い廊下で将棋倒しということも考えられます。市の考えを聞かせてください。

## A 市

森の倶楽部の階段の中央部分に手すりが無い点は、ご要望されているにも関わらず対応がないとのことですので、確認を行い、手すりを設置できるようにであれば、できるだけ早急に対応したいと思います。防災訓練や避難訓練については、市の担当者や指定管理者と協議を行います。

## Q 市民

東洋一の物流センターについて、中野久木の流通センターに隣接した地域では富士山やスカイツリーが全く見えなくなりました。また、16日に物流センターの第2回説明会があり、これから要望書を出そうと思っています。

まず、道路のことについて、物流センターに一番隣接している承水路がありますが、これらの自然環境をどのように守りますか。

次に、道路の速度制限や信号機の設置等の安全対策をどのように行いますか。企業に「道路に杭を打って通行止めにしてくれ」と相談したところ、「市からそのような指導があれば事業者は実施する」と回答され、市に3度も足を運んで、やっと市から通行止めにする話がきました。バスでは無く歩いて通勤する人はどうかという話もあります。

市道213号線も幅が広がるので、信号機の設置や速度制限を行うべきです。これから夏になると暴走族も来ます。警察には「暴走族が来たら連絡してくれ」と言われましたが、来たときにはもう遅いのです。

2年後には道路が完成するというのに、住民には情報が無く、こちらから市に要望すると少しずつ具体的になりますが、納得できる話が全くありません。警察の交通課、市の道路課、整備課、管理課、コミュニティ課にたらい回しにされて憤慨しています。

現在、どのような心配事があるのか、今後の具体的な方向性を教えてください。

## A 市

お話のあった通行止めの場所については、現在、新川承水路の断面を変えており、橋を撤去して大きな箱型の構造物に建て替えます。見た目の幅員は多少広がりますが、現在通行止めの箇所にはそのまま車止めを設置して、車両は通行止め、歩行者や自転車は通行できる形にします。ぐりーんバスの道路も同様に、大きな箱型の構造物を取り付けて橋の安定性を担保します。

承水路の断面が小さい、勾配の少ない地点はこれから対応しますのでこれまで降雨により水かさが上がり心配になっていた地点は、調整池も含めた冠水対策を充実させ、雨が降っても安全に道路を通行できるように対策する予定です。

## Q 市民

??（マイク無し。聞き取り不能）。

## A 市

構造的には同じものですが、片方は車が通行でき、もう一方は通行止めとします。現在、柱を建てて車が通行できない地点は継続します。

## Q 市民

住民は、ぐりーんバスの道路側の工事を知らないですね？

## A 市

道路の幅が広がる区域と広がらない区域がありますので、工事が始まる際にはお知らせしますし、通行規制の期間もお知らせします。

## Q 市民

住民は、まだ工事のことを知らないですね？

私は初めて聞きました。

## A 市

ご指摘の6番目の物流施設は、まだ開発前の協議の段階にあり許可が

下りていません。ですので、6月16日の説明会も、企業が地域の方に対して計画の概略を説明したに過ぎないものと思われます。

5番目の物流施設については許可が下りており、車両の通行止めや、新川承水路の工事を行っています。

市道213号線の規制については、現在、警察と協議しております。「何km制限」という具体的な数字は決まっていますが、物流施設の開発が進めば段階的に交通量も増加すると思いますので、状況をみながら判断していきたいと思います。

なお、この開発事業は、民間企業と地権者において決定しているものです。流山市は、当初の計画案が上がってから、住民のご意見を元にしたリクエストを企業側へ伝えています。

例えば、6番目の物流施設については、調整池の位置が北団地の住宅からの眺望に配慮した位置となるよう市と事業者で協議を行いました。今年中は協議を続ける予定ですので、皆さまから懸案事項や要望を上げていただき、可能な限り対応して頂くように進めていきたいです。

## Q 市民

説明会の情報も、1回目は話が来ましたが、2回目は私が市役所に足を運んでやっとわかりました。役所に行かないとわからないのでしょうか。もっと連絡があってもいいと思います。地域の住民は「お役所仕事だから仕方ないんだよ」と言います。

東洋一の物流施設を作るというのに、地域住民の不満もわからない、課題もわからない、回答も何も無い、ホームページも空白だという状況では、地域住民は納得しません。

## A 市

申し訳ありません。

6つの物流施設が段階的に開発されていますので、流山市もまだまだ協議中の状況です。流山市は、この半年間、確定前の案の状態でお出しできる情報があれば、お出しできるタイミングで情報提供して、皆さまからご意見をいただき、企業側に直せるところは直してもらおうという取り組みを継続しているものと考えていますが、まだまだご不明な点があれば情報共有したいと思います。



## Q 市民

流山の風土は何ですか。それにはどれ位の価値があり、住民に与えることはできるのでしょうか。

というのは、新川耕地の開発によって、富士山やスカイツリーの見える風土が無くなるんです。それは価値観として、数値として、経済的などの位の評価をしていますか。子どもたちが、賑やかに、楽しそうに、帰ってくる曲がりくねった道を。夕日が沈む、流山の風土を。

松戸、柏、三郷では、10階・20階建てのビルを建設して法人を取り入れ、市の経済を何とかしようとするでしょう。周りはビルばかりです。流山の風土を残しておけば、みんな遊びに来ますよ。

流山の昔懐かしい風景は、住民がみんなで作ってきました。風土の価値観と、経済発展と、人口増加とのバランスをもう少し考えていただきたい。

物流施設が活動を始めると、朝から大きなトラックが街の中を走りまわすよ。間違いなく。住民の生活は大変なことになります。未来の形をもう少し考えていただきたい。

## A 市

今から30年前、40年前に流山市に引っ越してきた方は、流山市の印象を「緑」と仰いました。それから区画整理事業が始まり、つくばエクスプレスができ、雑木林が伐採されていきました。

つまり、区画整理はすでに始まっており、その中で少しでも緑を回復できるように考えたのが、グリーンチェーン認定制度です。緑をただ伐採するのではなく建物を作る際に一定の間隔で高木を植えてもらう制度で、将来、緑陰ができます。4年前、東京大学の協力を得て、グリーンチェーン認定を取得した物件と取得していない物件の中古価格を調査したところ、1戸あたり平均490万円の差がありました。

新川耕地の地域は、これまでは水はけが江戸川まで続いていたのが、有料道路という堰ができて水が溜まるようになり、農業ができず、休耕田になり荒地になっていたところを、皆さんが何とか活用しようということで、物流センターが開発されることになりました。

流山市が市域の土地を全て所有していれば話は別ですが、実際にはそ

それぞれの土地に地権者がおり、何が最も合理的で、将来にわたって良いことなのかということを考えて動いています。そのような中で、市ができることであれば意見を述べて修正させていただいております。

新川耕地が変わる中、それを少しでも圧迫感が無く、眺望が開けて、緑が見えるように工夫をしていくことは重要です。しかし、あくまでも他人の土地であり民間の開発ですので、いかに環境を良くするかという知恵を出し、互いが折り合えるギリギリのところをせめぎ合っていくというのが、現実的な市政の仕事だと思います。

風土というのは大変難しいですが、流山市はゆるやかな起伏のある緑の多い地域です。国や東京都では規制緩和を行い、タワーマンションが次々と建設されるような政策をとっていますが、流山市は駅周辺を除いては低層の住宅都市であるべきだと思います。基本的には、ゆったりとした環境のまちというのが、流山の風土の重要な部分を占めており、それを守っていきたいと考えています。

## **Q 市民**

東武線沿線に緑地帯があるというのはかなり珍しいと思うのですが、市の所有物ですか、東武鉄道の所有物ですか。

## **A 市**

流山市です。

## **Q 市民**

これは要望です。

東側の緑地帯に沿って道路が延びていますが、交通量が多く、歩道も無いので歩行者が危険だと思われれます。犬の散歩をする人もいます。駅の南側は東も西も遊歩道がありますが、北側にも遊歩道を整備いただければと思います。

## **Q 市民**

先程、皆さんから流山の景観について意見が出ていましたが、私もそう思います。市長の言う、つくばエクスプレスで東京から28分のところに緑があるというのは継続してください。

現在、多くの外国人が観光に来ていますが、流山市も富士山の景観を残すべきです。外国人は日本人の考えが及ばないところに注目して訪れますので、逆転の発想が大切です。市役所の管理職は経営者です。井崎市長だけではなく、部長も経営者なのですから、そういった発想でやっていただきたい。

次に、マイナンバーカードの普及が非常に少ない。まだ2万枚です。このままでは住民基本台帳カードの二の舞になります。一番悪いのは国です。カードの所有を義務化しないからです。しかし、市役所の職員ですらマイナンバーカードを所有していない人が多いです。

「巧遅より拙速」という言葉を知っていますか？あなたたちの仕事は巧みに遅いのです。良いことを考えますが、スタートが遅い。民間企業でしたら倒産しています。結果が悪くなければ良いではなく、もっと真剣にやっていただきたいと思います。

回答はあなたたちが考えてください。以上です。